

台湾代表を表敬



李代表さいたま市訪問を約束

【国際局】4月18日、「白金のホワイトハウス」と称される台北駐日経済文化代表処(台湾大使館に相当、港区白金台)に、昨年9月に着任された李逸洋駐日代表(大使に相当)を、日台友好の市民団体メンバーと共に表敬訪問し、両国間の友好と団結を深めました。

「さいたま国際マラソン」に台湾から52名が参加

6月5日の市長記者会見で清水市長は、さいたま市と台湾との関係について、①台湾からの誘客のため、Facebookで観光・イベント・グルメ情報などの発信を中国語で行ってきた。②埼玉県と台湾観光客向けのプロモーション事業も行っている。昨年度は、関係者をさいたま市に招いて、商談会を開催した。③「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」や「さいたま国際マラソン」などのイベント周知を行い、台湾からの参加者などを募る取り組みも行っている。引き続き、色々な形で交流を深めて行きたい、との意欲を示しました。

市民・浦和競馬協働



浦和競馬を暮しに活かすセミナー

【スポーツ・文化部】5月26日に、市内のNPOが「市民と浦和競馬との協働」という浦和競馬史上初の試みとして、「浦和競馬を暮しに活かすセミナー」を約15名の参加者で開催しました。

この催しでは南区大谷場の浦和競馬場会議室で、埼玉県浦和競馬組合より、浦和競馬場の歴史や収支決算、その運営の仕組みなどの説明を受け、その後、場内各施設を視察し、実際の競争を見学しました。参加者は、広大な施設である浦和競馬場を、社会貢献施設として有効活用していこうと話し合いました。

6月5日の市長記者会見で清水市長は、「浦和競馬場には、年間約13万人が来場、『さいたま市』の名がついたレースや、南区『ふるさとふれあいフェア』など、地元根付いた活動の場としても利用されている。馬券を買わずとも、楽しめるお客様が増えるようなプランも検討していきたい」と語りました。

県民公論 電子版



ラオス大使と会談



北浦和で日本語を修学した大使

【国際局】日本・ラオス外交関係樹立70周年を祝うラオスフェスティバルが5月24日(土)と25日(日)の両日、東京代々木公園で盛大に開催され、「さいたま市民ラオス友好協会」と本紙が参加し、駐日ラオス大使館特設ブースに、新しく就任されたアンパイ キンダヴォン特命全権大使閣下を表敬、親しく会談の機会が得られました。

その中で大使は、「私は、北浦和の日本語国際センターで日本語を学びました。水道技術協力33周年のさいたま市は私のふるさです」とのエピソードを紹介して下さり、参加者は、大使とさいたま市との深いご縁に、友好親善の絆を強めようとの機運を高めました。

6月5日の市長記者会見で清水市長は、ラオスとの関係について、「さいたま市は以前から続けている、ラオスとJICA(国際協力機構)を通じて独自に締結している水道分野の強化に向けた協力を行い、友好関係を引き続き築いていきたい」と表明しました。

シルバーeスポーツ



【市民活動局】さいたま市発 全国展開をしている、ねんりんピック本市代表でもある「シルバーeスポーツ™」をYouTubeで紹介した動画(約240分)が、公開2か月で世界150万回視聴を記録しました。

「ねんりん埼玉」でのシルバーeスポーツ紹介の可能性

令和8(2026)年秋には、埼玉県で、「ねんりんピック彩の国さいたま2026」が開催されます。これについて、シルバーeスポーツ発祥の地であるさいたま市での、シルバーeスポーツ関連行事開催について、清水市長は6月5日の記者会見で、「ねんりんピック彩の国さいたま2026では、eスポーツについて、東松山市で開催することになっている。本市では、協賛企業等がブース出展の中で、eスポーツコンテンツを実施する可能性はあるものと考えている。」と答え、昨年の鳥取大会で設けられたような「シルバーeスポーツ紹介ブース(テンセント社協賛)」出展の可能性に言及しました。

YouTube シルバーeスポーツ 紹介動画



市民と市政のかけはし

1963(S.38)年創刊. 62周年

Kenminkoron

県民公論 第1097号

〒330-0074 浦和区北浦和5-1-6-302

TEL.048-762-7515 FAX.048-762-7623

kenminkoron@sea.plala.or.jp

さいたま市地方記者クラブ (市役所2階)

誰もが希望ある未来へ！

令和7年度施政方針(市政の進め方,予算の使い方,市長の考え方)



■令和7年度予算案の概要

来年度の一般会計当初予算額は

対前年度比1.2%減の7,034億円、

特別会計予算総額は3,323億円、

企業会計予算総額は1,306億円、

全会計予算総額は1兆1,663億円であり、

一般会計予算額、全会計予算総額ともに

過去2番目に大きい予算規模。

■新時代に向けて4つの取り組み

①選ばれる都市として、

新たなさいたま市の創造

②誰一人取り残さず、誰もが住みやすく

持続可能な地域社会の実現

③真に災害に強いレジリエントシティ*1

の実現

④新たな時代に対応する市役所の創造

■令和7年度の主な事業等の4本柱

①新時代を切り拓くさいたま暮らしの深化

②誰一人取り残さない持続可能な

地域社会の実現

③激甚化する自然災害への対策強化

④DX推進と公民学共創による

質の高い市役所の創造

■総合振興計画重点戦略、関連事業

①先進技術で豊かな自然と共存する

環境未来都市の創造

②一人ひとりが「健幸」を実感できる

スマートウエルネスシティ*2の創造

③笑顔あふれる日本一の

スポーツ先進都市の創造

④子どもたちの未来を拓く

日本一の教育都市の創造

⑤ヒト・モノ・情報を呼び込み、東日本の

未来を創る対流拠点都市の創造

⑥子どもから高齢者まで、あらゆる世代

が輝けるまちづくり(ふれあいと活力

ある長寿社会の形成に寄与するため、

「ねんりんピック彩の国さいたま2026」*3

の開催に向けて、共催する埼玉県や

関係団体と連携し、準備を進めます。

⑦激動する新時代に「未来技術」で

躍動する地域産業づくり

⑧災害に強く、市民と共につくる

安全・安心なまちづくり

⑨環境に配慮したサステナブル*4で

快適な暮らしの実現

⑩絆で支え合い、誰もが自分らしく

暮らせるまちづくり

⑪質の高い都市経営の実現

私は、21世紀半ばまでに、

「上質な生活都市」、「東日本の中枢都市」

という将来都市像実現にこだわり続けます。

そのため、令和7年度には、これまで申し

上げたような、幅広い分野において、必要

な見直しを加えた上で、新規事業の実施

や、既存事業の掘下げ・拡充を行い、これ

までより一層きめ細かく施策を展開するこ

ととしております。

それに全力で取り組むことを通じて、市民

の誰もが未来に向けて希望(ゆめ)を描き、

安心して暮らしていける都市へと本市を

更にシンカさせていく所存です。

(2025.02.04 市議会本会議場)

県民公論のマスコット



コロンちゃんのかいせつ

*1 レジリエントシティ

自然災害や、少子高齢化などの人口減少といった社会的な課題に直面しても、素早く復興し、さらに成長する能力がある都市。

*2 スマート

ウエルネスシティ

市民一人ひとりが健康で元気に幸せに暮らせる新しい都市モデル。

*3 ねんりんピック

彩の国さいたま2026

ねんりんピック(全国健康福祉祭)は、高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典。

ねんりんピックは、長寿社会の形成に寄与することを目的として、厚生省(現厚生労働省)創立50周年を記念して昭和63(1988)年にスタートし、都道府県持ち回りで毎年開催。

令和8(2026)年は埼玉県が担当。11月7日から10日まで、さいたま市をはじめ埼玉県各地で開催。

*4 サステナブル

「持続可能な」「継続的」「ずっと続けられる」という意味。

ねんりんピック 彩の国さいたま2026
咲き誇れ! 長寿と笑顔 彩の国



令和7年2月定例会代表質問

議長：帆足和之 副議長：西山幸代

代表質問とは

政党・信条を同じくする「会派」を代表して
市政全般にわたって質問すること。

2月4日、19年ぶり、3回目の本会議場コンサートを開催
さいたま市消防音楽隊が「ハロー・ファイアマン」と
「名探偵コナンのメインテーマ」を演奏

埼玉県庁舎再整備

立憲 浦和区 添野ふみ子 Soeno Fumiko

Q【添野ふみ子】 県庁再整備について、大野知事からどのような方向性が示されても、現在地に残すという姿勢は崩さないでほしい。

A【市長】 昨年8月には、私から大野埼玉県知事に対して、再整備後の県庁舎の位置は、引き続き現在地とすること等を求める要望書を手交した。さらに、昨年11月、県から県内各市町村に対する県庁舎の位置に関する照会に対し、本市として、県庁舎を現在地に再整備することの妥当性・重要性を説明した意見書を改めて提出した。必要があれば、改めて市として県へ要請する。周辺地域の住民・企業・団体等の方々からも地域の声を届けていただけるように、働きかけていきたい。

与野中央公園

公明党 中央区 照喜納弘志 Terukina Hiroshi

Q【照喜納弘志】 与野中央公園はどのような公園としたいのか。公園内設置の(仮称)次世代型スポーツ施設の位置付けは。

A【副市長】 与野中央公園の全体像については、鴻沼川及び高沼用水路に囲まれた水資源豊かな土地であることを踏まえ、「みどりと水辺が豊かな居心地の良い空間を創造するとともに、スポーツ・レクリエーション機能の維持・充実を図るため、広場及び複合スポーツ施設等を配置し、地区内外から多くの人が訪れ交流できる公園」と位置付けている。今後、中央区はじめ多くの市民にとって居心地の良い空間となるよう、推進する。

教員パイオニア特別選考

さい良民 岩槻区 江原大輔 Ehara Daisuke

Q【江原大輔】 教員になりたい市民が、教員免許などの資格や大学等に通わなくても、教員になれる制度が「パイオニア特別選考」制度と思うが、その見解と告知方法を伺う。

A【教育長】 「パイオニア特別選考」というのは、教員普通免許状を所有していない方が対象で高度な専門的知識・経験・技能を有する方であれば、受験することが可能。周知方法は、教員採用の実施要項に書いており、大学に説明に行っているが、企業等にはそこまで周知の方法がうまくできていない。今後については、この「パイオニア特別選考」を周知するPR動画を新たに作成するとともに、SNS等を積極的に活用し、周知をする。

カスタマーハラスメント

立憲 見沼区 三神尊志 Mikami Takashi

Q【三神尊志】 市職員対象のカスハラ実態アンケートの結果は。それを今後の対策にどのように生かすか。

A【副市長】 4,795人の職員から回答があり、約43.1パーセントの職員が過去3年間でカスタマーハラスメントを受けた経験がある。カスハラが増えていると感じている職員は約42.8パーセント。今後については、啓発ポスター等の窓口等設置など、カスハラへの理解を深めて頂く施策を実施する。

Q カスハラ防止に関する条例の制定についての考えは。

A 他の自治体の先進事例の研究を進めながら、本市においても条例化について検討する。

八潮市陥没事故

公明党 見沼区 小森谷優 Komoriya Masaru

Q【小森谷優】 八潮市の陥没事故を受けて下水道管等の埋設道路調査について。

A【副市長】 口径の大きい下水道管が埋設されている路線について、路面状況の現地パトロールを実施。路面下空洞調査の実施結果について、道路担当部署から下水道部署への情報提供など、担当部署間での連携を図っている。腐食するおそれが大きい箇所及び口径800ミリメートル以上の下水道管路の緊急点検を進めている。

下水道管の緊急点検の実施結果を踏まえ、路面下空洞調査の対象路線の見直し等について、検討する。市民の安心・安全の確保に向け、道路ストックの調査、点検を実施する。

産業集積拠点

さい良民 見沼区 鶴崎敏康 Tsurusaki Toshiyasu

Q【鶴崎敏康】 産業集積拠点の新たな候補地区について、選定地区数は何地区か。

A【副市長】 本市では、「企業誘致の受け皿の確保」を目的に、市内6地区について産業集積拠点の候補地区として位置づけ、整備に向け取り組んできた。これに加え、新たな候補地区として4地区を選定した。

Q 4地区の具体的な場所はどこか。

A 見沼区「丸ヶ崎地区」、見沼区「宮ヶ谷塔地区」、岩槻区「笹久保地区」、岩槻区「国道122号延伸地区」。産業集積拠点候補地区については、各地区の事業進捗状況、経済情勢、企業ニーズなどを踏まえながら、引き続き、選定についても検討する。

イベント事業

自民市議 浦和区 青羽健仁 Aoba Kenji

Q【青羽健仁】 さいたまクリテリウム・さいたまマラソン・さいたま国際芸術祭を実施することによる、市民に対しての効果や意義について。

A【副市長】 世界的なブランド力を持つツール・ド・フランスの名を冠したさいたまクリテリウムが開催されることは、国内外に向けた「スポーツのまち さいたま」の都市イメージの発信はもとより、多角的な意義があるものと考えている。

芸術祭についても、市民の芸術に触れる機会、芸術につながる行動をおこしていただき、様々な効果があるものと考えている。

マラソンについても、市民のスポーツ向上にかなり効果があったものと考えている。

浦和工業高校跡地利用

自民市議 岩槻区 新井森夫 Arai Morio

Q【新井森夫】 中浦和駅北口周辺改善まちづくり協議会より提出された、県立浦和工業高校跡地の利活用に係る要望書について。

A【市長】 要望内容は、県立浦和工業高校の跡地全体を教育や文化、また、スポーツ、地域活性化に利活用するという、地域の皆様が将来を見据えたまちづくりについての姿であった。

県立浦和工業高校の優れた地理的条件を踏まえた跡地活用という視点では、大変重要なものであると認識している。

地域のにぎわい創出の拠点となる施設の誘致については、県に対し、地域の御要望としてしっかりと伝える。

いとり学園

共産党 見沼区 鳥羽恵 Toba Megumi

Q【鳥羽恵】 「いとり学園」開校に向けて、先行自治体の良い例や問題点を研究して、柔軟で最も子どもによりそった学校にするために、再検討すべきと考えるが、見解を伺う。

A【教育長】 今、私たちも実は、他の事例も研究を並行して行いながら取組の準備をしているところ。

今、さいたま市としては全国初の例となる、対面とオンラインの融合の学びの多様化学校を開校しようとしているので、さらに1年間の中でしっかりと準備をしてまいりたいと考えている。

「いとり学園」について→ 

人間優先のグリーンオフィスに！ 市民と行政共創パークとしての市役所へ進化

令和13(2031)年度に、さいたま新都心にオープン予定の、本市新庁舎について、本紙では「職員が働きたくなる、市民が気楽に訪れたくなる人間優先の、“緑視率”の高いグリーンオフィス」を提案します。

新しい市役所は、市民を拒絶するかのような役場のイメージから脱却して、日本で初の緑あふれる共感と共創の、まったく新しい行政パークをめざすべきです。

例えばYahoo! JAPAN本社(千代田区紀尾井町)や、Google合同会社本社(渋谷区渋谷)のような先進事例を、さいたま市役所新庁舎に採り入れることにより、新鮮な発想と生産性が推進され、市民サービスが飛躍的に向上するものとなります。(臣)

さいたま市新庁舎オフィスイメージ

Yahoo! JAPAN本社 OFFICE LOVRS HPより

グーグル合同会社withnews HPより

外務省賞

本紙写真部長の渡邊大記者が、外務省主催の「日ラオス外交関係樹立70周年フォトコン」で「日本ラオス友好賞」を受賞しました。今年3月に開催されたサポセンフェスでの、ラオス民族舞踊イベントを撮影したもの。

日本ラオス友好賞
「日本・ラオス友好の愉快的仲間たち」

ジェンダー平等

共産党 南区 金子昭代 Kaneko Akiyo

Q【金子昭代】 「ジェンダー平等」の実現をさいたま市役所から。男女共同参画推進本部の組織強化を求める。

A【副市長】 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の施行にあたり、本市においては、困難女性支援計画を位置づけ、「さいたま市困難な問題を抱える女性支援関係機関ネットワーク会議」を設置し、庁内外の関係機関との事例検討や情報交換等を通じて、有機的な連携を深めつつ、柔軟で専門的な団体等との繋がりをひろげている。

今後についても、相談者に寄り添った、きめ細かく、継続的な支援の充実を図る。

JOIN (ジョイン)

みらい 浦和区 小柳嘉文 Koyanagi Yoshifumi

Q【小柳嘉文】 デジタル技術の急速な進歩で、市民と行政の情報格差がなくなってきており、市民と行政との関わり方をアップデートすべきではないか。

例として、台湾で「JOIN」という仕組みがあるが、市民の声を反映することについての現状認識と新たな取組について伺う。

A【市長】 台湾で活用されている「JOINジョイン」は、市民からの発案を基に、議論を重ねていく仕組みと理解をしている。今後、市民の市政への参画については、デジタル技術の活用も含めて、積極的に推進をしていく必要があると考える。

「JOIN」について→ 

観光国際功労賞

本紙国際局長の西森勢記者が、平成7年度のさいたま市観光国際協会の国際交流・国際協力功労者として表彰されました。西森記者の31年に及ぶ日本ラオス民間外交と、ラオス国民とさいたま市民との国際交流活動を評価されたものです。

ラオスピエンチャンで